



## ふるさとふれあいタイムズを発行

青少年育成部が中心となって取り組んだ「ふるさとふれあいタイムズ」が昨年12月中旬に各家庭に配布されました。

本年度も新型コロナウイルスの収束の兆しは見え、様々な制約がある中で活動のスタートとなりました。各区の育成会と連携しながら、4月から5月頃にテーマを決め、公民館部等に協力を依頼し、6月から8月頃にかけて体験学習や交流会を実施しました。

感染対策のため大人数での開催は叶いませんでしたが、各区で工夫しながら開催しました。交流会では、子ども達が自分の住む地区の歴史や伝統を学んだり、地域の方々と共同作業をしたりと様々な活動

がみられました。

新型コロナウイルス感染拡大のため計画していた企画が思うように実施できなかった区もありましたが、今出来る事、出来る方法を模索しながら「ふるさとふれあいタイムズ」を作りました。その活動内容や子ども達の感想などを育成会の役員や青少年育成部員がまとめて記事にしました。

12区全部の記事が出来上がってみると各区の特徴や発見もあり、読みごたえのある内容に仕上がったと思います。

ご協力いただきました各区関係者のみなさんに感謝いたします。詳しくは配布されました「ふるさとふれあいタイムズ」を是非ご覧ください。(青少年育成部)

### 「ふるさとふれあいタイムズ」の訂正について

「ふるさとふれあいタイムズ」(第2号)の記事に誤りがありました。次のとおり訂正をさせていただきます。関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

【訂正箇所】4ページ 西和田「もっと知りたい西和田の歴史」

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| ① (誤) 十王像地獄絵図 (記事と写真タイトル) | ③ (誤) お釈迦様 (記事と写真タイトル) |
| (正) 十王地獄絵図                | (正) お地藏様               |
| ② (誤) 釈迦涅槃像図 (記事と写真タイトル)  |                        |
| (正) 釈迦涅槃図                 |                        |

## 違反ゴミをなくすための取組み

東和田区環境美化部の人員構成は環境美化委員9人、部員6人の計15人で1年間を通しゴミゼロ運動・違反ゴミ・不法投棄・樹木の剪定・公園の草刈等について取り組んでいます。

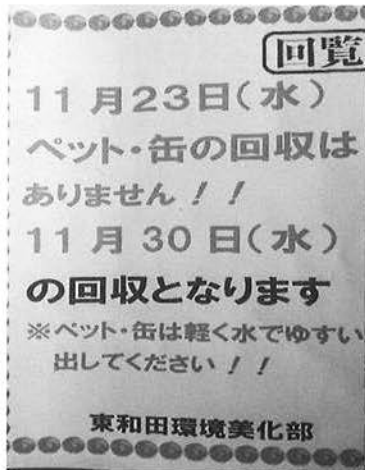
上記の中でも一番頭を悩ませているのが、違反ゴミ問題ではないでしょうか。私は可燃ゴミ・不燃ゴミ・資源ゴミ回収の翌日に巡回点検(週に2日～3日)を行い違反ゴミがあれば、写真に撮り年6回行われる環境美化部会でど

のようにしたら違反ゴミが無くなるのか話し合いを行っています。また、月に1度のペースで区民の皆様にご注意喚起を回覧で周知しています。

古牧地区の皆様へ、東和田地区の回覧文書例をご覧ください。1件でも違反ゴミが少なくなればと考えています。

(東和田区環境美化部)

## 【回覧文書例】



## 【違反ゴミ例】



汚れたプラ容器・プラゴミ以外が混在

## 区の話

## 新しい年の行事

年始に行われた行事の寄稿が広報通信員からありましたのでご紹介します。

### どんど焼き

1月8日(日)に守田廻神社境内で恒例のどんど焼きが行われました。

きれいに積み上げられたわら束のやぐらに子供たちが朝から町内を集めて回ったダルマ、正月飾り、縁起物等を飾り付け完成です。



みんなで神社に参拝した後、10時30分に点火しました。

当日は100人ほどの参加がありま

### 中村区



した。朝方の雪もやみ、晴れ渡った青空のもと、風もない絶好のコンディションとなりました。炎が高く舞い上がり、事故もなく無事終了しました。

### 五分一区



五分一区公民館では、1月8日に古牧小学校の校庭で「どんど焼き」を開催しました。朝8時から子供や小学支部の役員が、父兄の協力を得て各家庭の正月飾りを集めて子供たちが正月飾りから丁寧に針金やプラスチックを外す作業をして「どんど焼き」の柱を仕上げました。

点火式では、区民や子供たちなど総勢100名以上の参加があり、燃え上がる火柱を見て歓声を上げていました。その後に各自で持ち寄った餅や芋を燃え残りの炭で焼いて、久しぶ

りの町内行事を楽しみました。

近年、区の内外的環境変化に伴って会場の校庭周辺に、モデル住宅や高級車の展示場が出来ており、風にあおられた火の粉や灰の行方が心配となります。さらに校庭での後始末の中で、灰や炭に混ざった釘や危険物をハンド磁石で撤去してから袋に詰める作業も欠かせません。また、町内の



稲作農家がなくなり「どんど焼き」の柱となる稲わらや竹などの調達も大変で役員のトラックを借り材料調達をお願いしています。

今後も伝統ある文化行事を守り続けていくため、区内の多くの方々の協力と引き継ぐ担い手が大切になってきています。

1月8日、川端天神社境内に区の皆さんが集まり「どんど焼き」が行われました。午前中に集めたダルマや注連縄、正月飾りなどが高々と積み上げられました。

午後2時に点火。勢いよく燃え上がり、周りからは歓声も上がります。主催した天神社氏子総代と公民館の皆さんからも「大成功」との



声が！  
「どんど焼き」の火で焼いた餅を食べると一年間の無病息災が叶うとされ、虫歯にな

### 川端区



らないという説も…？。

1月8日、芋井神社境内で「どんど焼き」が行われました。子どもや育成会の役員が区内を巡回してお飾りなどを収集して神社に運搬。区、公民館、育成会の役員は、柱を立てて稲藁を積み上げ、その周りにダルマ、しめ飾り、門松などの縁起物や書初めなどを飾って準備をしました。

午後1時、区長と育成会長の点火でどんど焼きが始まりました。風で点火に苦労したものの、着火後は勢いよく燃えあがり、書初めが灰となって舞い上がっていました。

ダルマなどの飾りものがほとんど燃えたところで、安全のため、真中の柱を横にして撤去、その後は区民がお餅な



### 上高田区



どを焼いて楽しみました。

ほとんどが灰になったところで、役員や、防火のため待機していた地元の消防団員で残がいを片付け、最後は、全員の1本締めでどんど焼きの無事終了を祝うとともに、家内安全・無病息災を祈念しました。



南長池区

1月8日長池神社でどんど焼きが行われました。



西尾張部区

1月8日(日)午前8時より八幡中央公園で、西尾張部区のどんど焼きが行われました。昨年、一昨年とコロナ禍において、通常の子ども会による正月飾りの収集は中止となり、各自公園に持ち寄る形となりました。雪が残る寒い朝となりましたが、昨年よりも多くのダルマ、正月飾り、御札、書初めなどが集まり大きな櫓が出来ました。午前9時に点火、みるみる火が大きくなり、コロナ禍を吹き飛ばすような勢いに燃え上がり40分ほどで終了となりました。関係した子ども会、公民館、祭典委員会、区役員、消防団の皆様大変お疲れ様でした、今年一年良い年でありますように。



平林の安達神社では1月9日の午後2時半から「道祖神祭」と「どんど焼き」が行われました。先ず、氏子会館内で代々伝わる猿田彦を祭った掛け軸に佐藤芳美氏子主任総代の音頭で子供達を前列に、各氏子総代、育成会のお母さん



平林区



方、区三役等により二礼二拍手一礼の礼拝を行いました。佐藤主任総代から、道案内役としての猿田彦についての説明と、子供達を中心にしたお祭りであるとの由縁をお聞きしました。

その後、子供代表4名がどんど焼きに点火するための松明<sup>たいまつ</sup>を掲げ、鳥居の脇にある道祖神を全員でお詣りした後、子供達が朝早くから各家を回って集めた注連飾り等に点火し、

どんど焼きが行われました。区民の方々はそれぞれ持ち寄った餅を焼き、今年一年の無病息災と多幸を祈念していました。



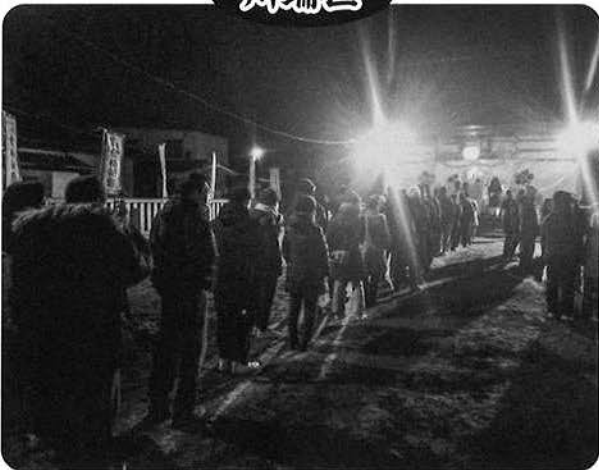
西和田区

1月8日(日)の午後に西和田神社でどんど焼きが行われました。以前は、子供達が注連飾りやダルマなどを集めていましたが、コロナ禍になり各家庭で神社まで持ってきていただくようにしてお正月飾りが集められました。



元旦祭

川端区



穏やかな大晦日から元旦にかけて川端天神社では「元旦祭」が行われました。400人の参拝者が訪れ、おおいに賑わいました。

境内では御神火が焚かれ、冷えた体を温める様子も。公民館では獅子が舞い新しい年を祝います。

西尾張部区



令和5年がスタートいたしました。西尾張部区では午前10時より倉澤宮司をお迎えして区役員、祭典委員の皆様により元旦祭が執り行われました。神事後、西尾張部神楽保存会の皆様による獅子舞の奉納があり、社殿内と境内において二頭による獅子舞の奉納が行われ、集まった区民の皆様にはお神酒がふるまわれました。獅子舞に頭を噛んでもらっている子供も見られました。新型コロナウイルス感染症も今年こそ終息に向かって行けば良いと思います。皆様の繁栄とご健康をお祈りいたします。

芋井神社狛犬物語

古牧郷土史研究会 中澤 宏

芋井神社の鳥居を潜ると拜殿の前に一対の狛犬が鎮座しています。向かって右側の阿行の背後に「昭和十五年四月建立」、左側の吽行に「紀元二千六百年紀念」と彫られています。

紀元2600年に向けて、日本では天皇を中心に国民を統合する諸事業が計画され、当上高田では、狛犬を建立して境内を整備することを村の大きな事業に据えたと考えられます。

狛犬の阿行と吽行の背後に24人ずつ計48人の寄付者の名前が刻まれています。先人の尊い寄進によって狛犬が建立されたことがわかります。

また、阿行の背面の台座に「岡崎市 石匠 成瀬大吉」と石工の名前が刻まれています。狛

犬建立時の職人と村の役員の集合写真が残されています。

芋井神社に参拝する折には、ぜひ狛犬と語り合ってみてください。狛犬はこれからは上高田の人々と歩みを見守るとともに、整備の進んでいる南向塚公園を護ってくれることでしょう。



娑婆鉛筆 コロナ禍の中で皆さんのお手元に

平成19(2007)年3月に住民自治協議会が設立され、その様子を伝える広報誌として「ぷらネットこまき」が創刊されました。創刊にあたり「コミュニティー活性化の基礎となる情報の発信・共用化を念頭に年3回の発行を」と当時の会長が創刊号で発信しております。

この「ぷらネットこまき」は住民自治協議会の設立前は「古牧だより」として区長会を中心として各種団体の活動などを昭和50(1975)年3月から年3回程度発行し「ぷらネットこまき」へと引き継がれ、「ぷらネットこまき」発行から150号を超えました。

この間、広報部長を中心に編集部員が事業や活

動の内容を定期的にお届けしたいという思いから、現在は、年9回程度発行しております。

ここ3年はコロナ禍となり住民自治協議会の事業、活動の中止、縮小などにより、地域の皆さんにお届けするものがなくなり、編集会議で部員が頭を抱えながらアイデアを出して何とか発行を続けようとしたが、残念ながら休刊も経験しました。

ようやく、社会活動が戻りつつある中、基本的な感染対策(三密を避ける、マスク着用など)を講じながら少しずつではありますが住民自治協議会や各区の活動が行われるようになってきました。

引き続き、コロナに負けず皆さんに活動の様子、情報などをお手元にお届けする広報誌として発行を続けてまいります。(広報部会)

2月から3月までの主な行事実施日のお知らせ → 回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和4年12月1日現在

11,743世帯

26,392人

(男 13,066人

女 13,326人)

■発行所 古牧地区住民自治協議会  
(電話 259-8359・FAX219-1057)  
(E-mail:komaki@vivid.ocn.ne.jp)

■発行者 塩入 茂  
■編集 ぷらネットこまき編集委員会  
■印刷 SR



HP  
ご覧ください